

IV 教育施策の具体的実施状況

5 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成 [青少年の健全育成]

(1) 健やかな青少年を育む地域活動・体験活動の充実

(2) ユイマールの心でつなぐ学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力

担当課：生涯学習振興課

5 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成

(1) 基本方向

地域においては、青少年一人一人が社会の変化に主体的に対応し、自らの問題や社会の問題に積極的に取り組むことができる資質・能力を養い、現在または将来において自己実現が図られ、社会性を培い豊かな人間性を育むことができるよう、青少年の健全育成に努める必要がある。一方、都市化、少子化、核家族化などライフスタイルの変化や、価値観の多様化等の影響を受け、地域における人間関係の希薄化等が進展し、家庭や地域社会の教育力の低下が進んでおり、青少年のおかれる環境の悪化が懸念される。

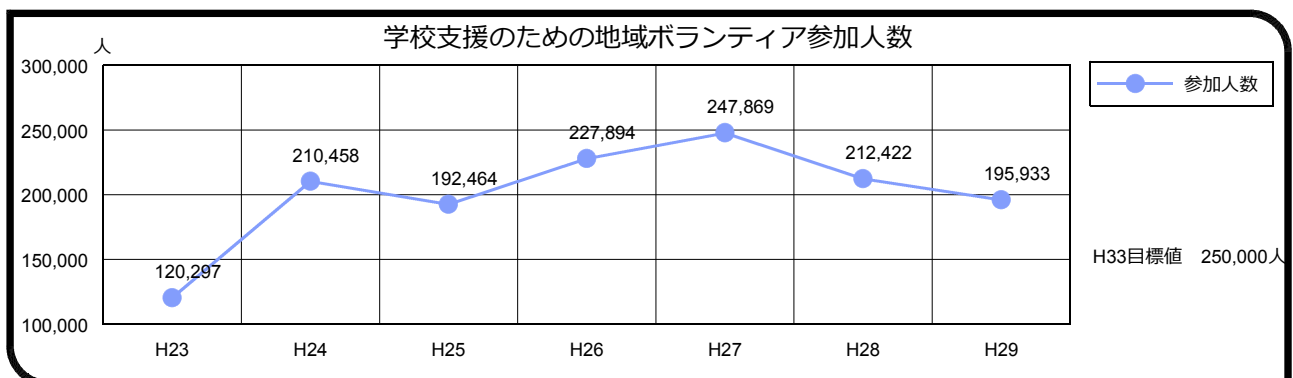
このため、ボランティア活動などの社会奉仕体験活動や自然体験活動、地域での文化・スポーツ活動や伝統行事等への参加、親と子どもの体験活動等の総合的な青少年体験活動事業を推進する。このような地域住民の連帯感が図られる取組を通して、地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成に努める。

(2) 指標

「矢印」前年度からの傾向 「/」事業設定なし 「―」数値未発表・未確定 「頁」関連事業案内 「◎」目標値達成指標

成果指標：該当頁	単	H25	H26	H27	H28	H29	目標値H33
県及び市町村の体験活動事業参加者数：P148	人	↗ 197,254	↗ 203,639	↗ 231,908	↘ 231,456	—	250,000
学校支援ボランティア活動導入率 (小・中・高等学校)：P148	%	↘ 93.8	↗ 94.6	↗ 95.3	↗ 95.4	—	98.5

活動指標：該当頁	単	H25	H26	H27	H28	H29	目標値H33
ESD活動を実践するユネスコスクール加盟校：P146	校	→ 2	→ 2	→ 2	→ 2	→ 2	5
「おきなわ地域教育の日」の年間計画への設定 市町村数：P146	市町村	→ 21	→ 21	→ 21	→ 21	↘ 15	41
御万人すりていCGG運動の支援：P150	人	↗ 200,261	↗ 228,145	↗ 267,633	↗ 435,943	↗ 503,116	500,000 ◎
学校支援のための地域ボランティア参加人数：P148	人	↘ 192,464	↗ 227,894	↗ 247,869	↘ 212,422	↘ 195,933	250,000
放課後子ども教室に参加した大人の延べ数：P148	人	↘ 36,433	↘ 29,453	↗ 32,634	↘ 32,376	↗ 54,966	67,000



■ 沖縄県放課後子ども教室推進事業



中

ゆいまある【豊見城市】

今帰仁自学塾【今帰仁村】



いげな勢理客太陽子ども会教室
【伊是名村】

■ 地域学校協働活動推進事業



宜野湾市地域学校協働本部【宜野湾市】
「大山田イモ学習」(大山小)

恩納村地域学校協働本部【恩納村】
「家庭科ミシンサポート」(恩納中・山田中)



八重瀬町地域学校協働本部【八重瀬町】
「町発見」(白川小学校)

■御万人すりていCGG運動（クリーン・グリーン・グレイシャス運動） 「CGG運動」参加者・地域の声等

- ・〇〇小学校、〇〇中学校の地域活動への関心が年々高くなっている。今年も積極的な呼びかけで多くの参加が見られた。
- ・特に中学生の参加が目立ったのが特徴的。また、津波緊急場所の草刈り作業では10月からCGG当日にかけて、公共工事受注の2社がボランティア活動に参加するなど、高齢化が目立つ中で大きな支援となった。
- ・昨年建築中の為、十分に公民館の清掃が出来なかった分、今年は区民の参加も多かった。特に小学生、中学生、父母も参加していただき無事終わることが出来た。
- ・中学校PTA・教師の参加が少ない。小学校は保護者との参加が多かった。
- ・もっと学校としても取り組んでほしい。
- ・中学生との交流ができ、地域の大人と共に清掃作業に取り組むことで美化への意識も高まり、効果は大であった。
- ・自治会の子ども会は毎月の清掃にも参加していて毎回楽しみである。
- ・世代間の交流もあり、コミュニティの活性化にもつながる。
- ・地域の子ども向けイベントが少ないので開催した。
- ・いつも同じ顔ぶれで、区の清掃をしている。もう少し周知してもらい、児童の参加があればよいと思う。
- ・PTA主催にして親子の参加者が増えた。
- ・つなひきは他の字からの参加も歓迎している。
- ・活動費補助等があれば助かる。茶菓子代等。
- ・〇〇村でもCGG運動も定着しており、子供達や地域住民、各種団体の協力も得られた。本事業の趣旨である「クリーン・グリーン活動」及び「御万人のふれあい活動」として今後も全県的な運動として展開をして欲しい。
- ・活動内容が多くあるので、もう少しどういう活動というように例を示していただくと回答しやすい。
- ・本市では、各公民館や学校を含め多くの行事があり、毎回カウントするのは難しい、また、対象事業が非常にあいまいで、回答に苦慮するという意見が多くある。市主催事業も対象になるのか。明確にしたい。

■浦添市CGG運動出発式の様子



■ クリーン活動の様子（CGG運動）



12/17(日) CGG運動で地域の絆深める



■ ふれあい活動の様子（CGG運動）



(3) 各事業の点検・評価

課題	事業名	内容	Plan (計画)	Do (実施)
① 健やかな青少年を育む地域活動・体験活動の充実	<p>ア 次代を担う青少年育成推進事業</p> <p>【担当課】生涯学習振興課【21世紀ビジョン】-</p> <p>【決算額】180千円</p> <p>【進捗状況】順調</p>	<p>■ 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育（ESD）研修会の実施</p>	<p>■ ESDの理解促進と教育活動の取組を支援する。</p> <p>(1) ESDに関する研修会を実施し、その考え方・実践例を紹介する。</p> <p>■ ユネスコスクールの加盟を促進する。</p>	<p>■ ESD研修会を実施した。</p> <p>(1)実施 8/2, 21, 24</p> <p>(2)対象 公立小中高校初任者 県立高校10年経験者</p> <p>(3)内容 講演、授業実践紹介、ワークショップ</p> <p>■ 市町村教育委員会、学校等へESD行政説明を実施した。</p>
	<p>イ 「おきなわ地域教育の日」の広報・啓発</p> <p>【担当課】生涯学習振興課【21世紀ビジョン】-</p> <p>【決算額】-</p> <p>【進捗状況】順調</p>	<p>■ 地域主体で「地域の子は地域で守り育てる」機運の醸成を図るため、毎月第3土曜日を「おきなわ地域教育の日」に設定</p> <p>■ 各地域で、この日を活用して子どもたちとの信頼関係を築きながら地域の居場所づくりや地域の教育力向上を目指し、青少年の健全育成に資する広報・啓発の実施</p>	<p>■ 各市町村の社会教育関係団体のネットワーク化を推進する。</p> <p>■ 青少年健全育成の日を推奨する。</p> <p>(1)毎月第3金曜日の「少年を守る日」、一土曜日の「おきなわ地域教育の日」、一土曜日の「家庭の日」の3日間をセットにし、健全育成を図る。</p>	<p>■ 社会教育関係団体との連携を図った。</p> <p>(1)普及活動の推進</p> <p>(2)本島内並びに離島市町村教育委員会訪問実施</p> <p>■ 年間計画への設定を依頼し、市町村訪問を行った。</p>

Check (検証)	Action (改善)
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■対象者を小中高校初任者・高校10年経験者教諭等としたことで、県内小中高校へE S Dの理解促進と周知を行うことができた。(受講者：466名) ■小学校・高等学校各1校がユネスコスクールに申請した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■E S Dへの理解促進・周知は弱い。 ■県内のユネスコスクール加盟校は2校にとどまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■関係機関との連携を強化する。 ■加盟検討校・加盟校へのサポートをする。 ■E S D研究指定校を設け、ユネスコスクール加盟促進を強化する。
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域行事の意義を再認識できた。 ■年間計画への設定ができた。(15市町村) <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■各種関係団体行事等との調整が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> (1)各種関係団体の行事の多さ (2)学校教育との連携、均衡調整の検討 ■「おきなわ地域教育の日」のさらなる普及が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■各市町村の社会教育関係団体のネットワーク化を推進する。 ■青少年健全育成の日を推奨する。 <ul style="list-style-type: none"> (1)毎月第3金・土・日曜日の3日間をセットにし、健全育成を図る。

課題	事業名	内容	Plan (計画)	Do (実施)
② ユ イ マ ル の 心 で つ な ぐ 学 校 ・ 家 庭 ・ 地 域 社 会 の 相 互 の 連 携 及 び 協 力	ア 地域学校協働活動推進事業 (学校支援活動) 【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 2-(2)-ウ 2-(2)-オ 2-(7)-ア 5-(1)-ア 【決算額】 41,100千円 【進捗状況】 概ね順調 (放課後子ども教室推進事業) 【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 2-(2)-ウ 2-(2)-オ 5-(1)-ア 【決算額】 31,938千円 【進捗状況】 順調	(学校支援活動) ■ 地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図る (放課後子供教室推進事業) ■ 各市町村において、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の参画を得て、様々な体験活動を実施	(学校支援活動) ■ 事業担当者を対象とする研修会を4回開催する。 ■ 事業を実施する21市町村に、補助金を交付する予定である。 ■ 地域コーディネーターの配置については、市町村が真に必要な人数を配置する予定である。 (放課後子供教室推進事業) ■ 21市町村137教室で事業を実施する予定である。 ■ 各放課後子ども教室では、学習支援活動、スポーツ活動、体験活動等様々なプログラムが展開する予定である。 ■ 県は研修会等を通して、放課後子ども教室関係者の資質向上を図る。 ■ 21市町村に、補助金を交付する予定である。	(学校支援活動) ■ 市町村担当者や事業関係者を対象とした研修会等を4回開催し、事業関係者の資質向上を図った。 ■ 20市町村212校(72地域学校協働本部)において、事業が実施された(国、県で2/3補助)。 ■ 地域コーディネーターについては146人配置した。 ■ 20市町村に、補助金を交付した。 (放課後子供教室推進事業) ■ 県内の23市町村197教室で放課後等における子ども達の安全・安心な活動拠点支援活動が行われた。 ■ 各放課後子ども教室では、学習支援活動、スポーツ活動、体験活動等様々なプログラムが展開された。 ■ 県は研修会等を通して、放課後子ども教室関係者の資質向上を図った。 ■ 21市町村(138教室)に、補助金を交付した。

Check (検証)	Action (改善)
<p>成果 (学校支援活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ボランティア参加延べ人数について、計画値230千人に対し、実績値196千人であり、概ね順調に推進することができた。 ■ 20市町村212校（72地域学校協働本部）における地域人材を活用した継続的な活動による日々の交流を通して、学校と地域の連携が深まった。また、子どもと地域住民が顔見知りになることで、地域全体の温かい人間関係を生むことができた。地域住民の自己実現や生きがいづくりに繋げることができた。 <p>(放課後子供教室推進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 前年度に比べ、1自治体、7教室増となり、事業の拡充が図られた。 ■ 各放課後子ども教室では、学校支援活動、スポーツ活動、体験活動等様々なプログラムが展開された。地域の大人が見守ることで、子どもたちが安心して活動する場を作ることができ、地域の大人と子どもたちとの心の交流が図られた。更に、多くの大人が子どもたちとの活動に関わることで「地域の子どもは地域で守り育てる」気運が高まるとともに、子どもたちとの活動を通して喜びを感じ、生き甲斐となった。 <p>課題 (学校支援活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業未実施市町村ごとに子ども達への地域住民活動の状況把握を行い、事業周知に反映させる必要がある。 ■ 事業に携わる関係者等の研修会の充実を図り、事業課題に対応できるような関係者の質の向上を図る必要がある。 <p>(放課後子供教室推進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業未実施市町村ごとに放課後対策の状況把握を行い、各地域に応じた効果的な事業の周知を図る必要がある。 ■ 事業に携わる関係者等の研修会の充実を図り、事業課題に対応できるような関係者の質の向上を図る必要がある。 	<p>(学校支援活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業未実施市町村へ事業効果などの説明を行うと同時に、各地域の学校支援や地域住民活動の現状、ニーズを把握する。 ■ 地域と学校をつなぐ役割を担う地域コーディネーターと地域連携担当教員の関係強化につながる研修内容を企画し、地域と学校の連携を一層推進する。 ■ 県推進委員会において、事業の効果的な推進について検討するとともに、様々な分野からの意見を取り入れ、連携を図っていく。 <p>(放課後子供教室推進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業に携わる関係者等の研修会において、ボランティアを確保する（仲間を増やす）ための手法などを題材に取り上げる。 ■ 事業未実施市町村へ事業効果などの説明を行うと同時に、各地域の放課後対策の現状、ニーズを把握する。 ■ 県推進委員会において、事業の効果的な推進について検討するとともに、様々な分野からの意見を取り入れ、連携を図っていく。

課題	事業名	内容	Plan (計画)	Do (実施)
② ユ イ マ ー ル の 心 で つ な ぐ 学 校 ・ 家 庭 ・ 地 域 社 会 の 相 互 の 連 携 及 び 協 力	イ 御万人す ていクリー ン・グリー ン・グレイ シヤス (CGG) 運 動 【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 - 【決算額】 - 【進捗状況】 順調	■ 市町村の各地 域で、社会教 育関係団体、 学校教育関係 ・団体等が中 心となり、す べての地域住 民が参加する 「クリーン活 動」や「御万 人のふれあい 活動」の展開	■ 社会教育関係団体との連携強 化を図る（各地域における青 年団・婦人会等の活性化） ■ 市町村教育委員会、学校・各 自治体等との連携 (1)子ども達の安全確認の徹底	■ 各地域の実情にあわせた CGG運動を実施した。 ■ 沖縄県CGG運動実行委員 会を2回開催した。 ■ 各地域年間計画に位置づけ 様々なふれあい活動を実施 した。 ■ マスコミ各社に対して、 CGG運動への広報協力依 頼を行った。

Check (検証)	Action (改善)
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 50万人余の県民の参加があり、子ども達と地域の人々のふれあい活動が拡充してきた。 ■ 老人会・婦人会・青年会等との交流（連携）が深まってきた。 ■ 伝統文化を継承するとともに、既存行事の再評価をすることができた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域住民との連携が必要である。 <p>(1)趣旨周知の不足</p> <p>(2)実施主体へのフィードバック・報告負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学校・関係機関との連携が必要である。 <p>(1)学校行事との調整</p> <p>(2)対外試合や文化系イベントとの調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各市町村における本運動の予算化が必要である。 ■ マスコミや企業への告知を強化する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会教育関係団体との連携を強化する。 ■ 市町村教育委員会、学校・各自治体との連携を図る。 ■ 啓発運動・告知の強化（企業等）を図る。

■ 放課後子ども教室推進事業・地域学校協働活動推進事業に係る研修会



コーディネーター研修会（8月）



ボランティア研修会（2月）

■ 平成29年度「地域学校協働活動」推進にかかる文部科学大臣表彰

<受賞団体>



浦西中学校校区地域学校協働本部
（浦添市）



美東中学校地域学校協働本部
（沖縄市）



中の町小学校地域学校協働本部
（沖縄市）